

2-5 公共交通に対する市民ニーズの整理

- ・白石市民の公共交通に対するニーズについて、市民アンケート調査、住民グループインタビュー調査等を実施し、現況と問題点について取りまとめました。現状と問題点については、「外出目的別」、「地域別」に整理を行いました。

表 白石市内の公共交通における現状と問題点【外出目的別】

外出目的	公共交通における現状と問題点
通院	<ul style="list-style-type: none"> ・通院先は、白石市内の病院が最も多く、受診率は84%と高くなっている。全地域で「公立刈田総合病院」の利用が約4割で、その他殆どは中心部の診療所等が多くなっている。 ・頻度は、「月数回」が約4割。越河地区と大平地区がやや多い。 ・時間は、朝8～9時に出発、10～11時に帰宅、「午前中」が多く、2時間程度。 ・交通手段は、「自家用車」が圧倒的。越河地区では「バス」が約2割。各地域、「家族送迎」が2割おり、帰りは「タクシー」等別の手段となる場合があり。 ・公共交通利用は、病院バスが廃止になり、病院まで延伸した「越河線」「大張線」「白角線」が利用者増加。
買物	<ul style="list-style-type: none"> ・買物先は、白石地区の中心部にある「ヨークベニマル白石店」や4号線沿いにある「みやぎ生協セラビ白石店」等、大河原町や国見町等の域外への流出も見られる。 ・頻度は、殆どが「週1～2回」で4割、白石地区のみ「週3～4回」が3割。 ・時間は、10～12時又は16～18時の間。1時間程度が多い。 ・交通手段は、「自家用車」が圧倒的。「家族送迎」が約1割。 ・公共交通利用者のうち買物利用は12%。
通学 (高校生)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の生徒は、6割ほどが市内の高校に通学しており、その他の地域では大河原町や、柴田町に通学している。 ・時間は、始業8:45で統一も、終業が部活により15時台～22時台とばらつきが大きい。中でも18時台、19時台が多い。 ・交通手段は、学校の立地により「保護者等の送迎」、「自転車」、「JR」に大区分される。市民バスは全体の16%程が利用している。 ・雨天時や部活帰りは、学校や最寄駅への「家族送迎」が多く、保護者の負担となっている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市民バスの運行を認知しているのは約9割だが、経路や運行時間などの認知度になると、4割前後と低くなる。 ・市民バスは、「運行ルート・時間・停留所の見直し」への要望がとても多い。 ・利用意向としては、「利用してみたい」が45%。 ・免許返納は、約3割ほどの方が返納の意志があり、75歳以上が6割。

地区別	公共交通における現状と問題点と意見
越河地区	<p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗りたい区間にバス停が無い、またはバス停が遠い。 ・利用したい時間にバスが運行していない。 ・近くにバス停が無い買物施設が多く、買物先が限定される。 ・タクシーの補助券を作っても、利用先は街中のみになるし、タクシーが来るまで時間がかかる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッスルくんが停まらない地区にバス停を作ってほしい。 ・どこでも乗れるフリー区間を増やしてほしい。 ・通学対応として、小中学校の統廃合に合わせたキャッスルくんの増便や、白石高等学校付近への停留所設置を検討してほしい。 ・買物・観光対応として、街中を周遊するバスの導入や土日運行を検討してほしい。 ・バス路線から遠い地区について、地域住民主体のボランティア運送が出来ないか。 ・デマンドが3～4便あれば財政的にも楽になるのではないか。
斎川地区	<p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスとJRの接続が出来ていない。 ・利用者が少ない路線でも大型バスを運行している。 ・斎川地区に移動販売は無いが、定期的な宅配はある（生協）。 ・バス料金200円（高齢者100円）は高いのではないか。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買物対応として、スーパーの敷地内やスーパー付近へのバス停設置（スーパーが協賛金を負担する等）や土日運行も検討してほしい。 ・デマンドの導入や乗合タクシーの運行地区を増やす等検討してほしい。タクシー補助券等も有効ではないか。 ・自治会でのボランティア輸送も検討するべき。
大平地区	<p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城南2丁目のバス停は、1日1本だが利用者には好評。 ・越河線下り3便は、ヨークベニマルや生協での買物客が多く利用している。 ・タクシーの台数が少ない為、駅にタクシーが待機しておらず、利用できない。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買物と病院を巡回するバスがあれば、皆利用する。 ・バス停が近くにあるスーパーからは負担金をもらうべき。 ・バス停を住宅地辺りに設置してほしい。 ・市民バスの定期券があれば便利。 ・デマンドタクシーと市民バスを組みかえるのはどうか。

地区別	公共交通における現状と問題点と意見
大鷹沢地区	<p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民バスの認知度は高いが、経路が不明なので使えない。 ・県道沿いより山側に民家が多い。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許証返納の特典として、送迎サービスや定額制タクシーの導入も有効。 ・市内を循環するバスがあるといい。 ・各高校までのバスがあるといい。 ・場所と曜日で運行ルートを変える等、経路の見直しにより、利用が増えるはず。 ・5～6人くらいの送迎バスがあれば経費はかからないのではないかと。
白川地区	<p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民バスとJRなどの接続が悪く、家族送迎に頼らざるを得ない。 ・北白川駅は、大河原方面から来る際、階段利用となり、お年寄りは大変であるため、帰りはタクシーの乗合いを利用。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の統廃合に合わせて、コースや時間を見直してほしい。 ・北白川駅より北側に集落があり、バス路線を延長してほしい。 ・すべてフリー区間にすれば、利用が増えるのではないかと。 ・運転手不足に対して、定年後の再雇用などを考えるべき。 ・バスの運賃を値上げして、財政負担の軽減が出来るのではないかと。 ・バスの小型化により、細い道路も入っていけるのではないかと。 ・市街地を循環するバスやドアツードアのデマンドの導入を検討すべき。 ・役所任せではなく、市民も考えるべき。
福岡地区	<p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回の運行では、運行日が分からず、乗れない。 ・市街地もフリー乗降でなければ、行きたいスーパーに行けない。 ・高校生は足が無く困っている。自転車を利用するには距離がある。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に路線と時間帯の見直しをしなければ、乗客は増えないのではないかと。 ・七ヶ宿町営バスと小原線が重なっており、効率化が必要。 ・薬師堂線は、乗車人数が少ないので廃止にすべきではないかと。 ・観光客のバス料金を少し高めに設定し、収入を確保することで増便できないかと。 ・通院時に何らかの補助があると助かる。 ・タクシーの乗合いやスクールバス、送迎バスを活用できるのではないかと。 ・市でワゴン車を提供し、自治会長等が運転・送迎するサービスは導入できないかと。

地区別	公共交通における現状と問題点と意見
<p>深谷 地区</p>	<p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝は通学児童がフリー区間でまばらに乗車するため、ダイヤに遅れが生じている。 ・放課後に児童クラブ等の活動がある日は、バス時間が合わなくなる。 ・近隣住民の情報では、小学生の利用は登校時のみで、下校時は利用していない。 ・中学生は朝 7:45 分学校着となっており、バス利用の生徒は朝練に間に合わない。 ・公立刈田総合病院への通院の際、乗り換えが生じるため面倒。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー会社で実施している免許返納者に対するタクシー料金一部割引の情報を、もっと周知させるべき。 ・70 歳以上の高齢者に対して、キャッスルくんのフリー券を配布してはどうか。 ・何か、パスがあれば、バスも利用してみたいと思う。 ・バスの小型化により経費削減して、タクシーなどの補助等にうまく回せないか。
<p>小原 地区</p>	<p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小原地区は坂が多く、高齢者がバス停まで行くのは困難である。 ・小原線は公立刈田総合病院に直通で行かないため、不便。 ・街中へは小原 7:25 発で行き、城下広場 14:35 発で帰るため、待ち時間調整が必要。 ・70～80 歳以上の高齢者の方は、バスの待ち時間で本当に困っている。 ・14 時台の帰りの便は、小原線と七ヶ宿町営バスの白石駅出発時刻が近すぎる。 ・七ヶ宿町営バスは七ヶ宿町民の為のバスなので、小原線の 3 カ所だけ停車する。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出が 1 日ばかりとなるため、便数を増やしてもらいたい。 ・街中(11:30 頃)→小原地区(12:00 頃)、小原地区(12:30 頃)→街中(13:00 頃)のバスがあると午前、午後の通院が可能となる。 ・小原線と七ヶ宿町営バスの共同運行を検討すべき。 ・平均 5 人程度の利用なので、車両の小型化を検討すべき。 ・路線を短縮し、便数を増やすのはどうか。 ・片道 40～50 分なので、5～6 往復を運転手 1 人でピストン運行してはどうか。 ・運転手不足への対応として、定年退職者の雇用を検討すべき。 ・通院や買物のため、土日運行が必要。せめて、土曜日の運行を検討してほしい。 ・バス利用者が少ないため、活用促進のためのアピールが必要。